

# 育成センターだより

平成29年10・11・12月号  
No. 409  
長野市  
少年育成センター  
TEL. 228-8547  
FAX. 224-0109

- 一 長野市青少年健全育成環境浄化強調月間(10月)
- 二 子ども・若者育成支援強調月間(11月)
- 三 児童虐待防止推進月間(11月)

## 十、十一、十二月の育成活動

秋の夜長を勉強に読書に趣味にと、人それぞれに有意義に使っていく、どんなことにも集中して過ごせるよい時期を迎えています。若いエネルギーはどのように過ごしているのでしょうか。

十月、十一月は浄化月間、強調月間、推進月間が続きます。「これまでなかったから大丈夫！」から、「何もないと思う今こそ。」と、子どもと地域との温かい関係づくりに、声かけのエネルギーを使って、暖かな歳の瀬を地域にお迎えください。



晴れの舞台、全ての子にエールを!!

## 育成活動の重点

青少年の顔をのぞき込んでの声かけもこの時期大切なことです。

- 「大丈夫、あなたが来るまで待っているから。」
  - 「あなたの気持ちを少しも考えずにすまなかったね。」
  - 「これからのことを、あなたと一緒に考えたいんだ。」
- 今を共に歩くかけがえのないパートナーと捉え、これまでの声かけを振り返り支援するスタンスを見直す機会にしてみてください。

## 「少年相談に関わって」

長野県中央児童相談所 相談判定課長  
田畑 均 (臨床発達心理士)

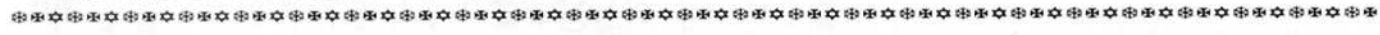
数年ぶりに奥歯の虫歯治療したときのこと。何やらガリガリと処置が始まりました。当然ながら口の中は見えませんが、げん面持ちしていると、先生は「虫歯だけを染めぬく薬を塗ってあります」と説明してくれて「へえ、虫歯だけくつきりとわかる薬があるんだ」と驚かされ、虫歯が神経まで達していないと分かることすかさず「ラッキーでしたね」とマスク越しにささやき、手短かに治療方針を伝えてくれてホッとひと安心。数回の通院で治療は無事終了しました。あまりの手際よさに、気になり始めた前歯も診てもらったことになりました。「よくこんな小さな虫歯が分かりましたね。我々もこれくらい早いうちなら助かります」と褒められ、なんだか気分がよくなった上に、更に次のひとこと。「前歯を治したとは分からないような、いい材料ができましたんですよ」。この歯医者さんは患者がどんな不安を持っているかを一瞬でつかみ、その人の心と体をリラックスさせるコツを実によく知っているなと感心させられました。



虫歯も、これくらい早いうちなら

# 一日少年に参加の学校 PTA の皆さんからの感想 (6月3日実施)

- 七瀬地下通路 昨年 11 月にボランティアさんにより落書きがキレイに消されたとのことでしたが、すでに 1、2 箇所に新しい落書きが見られました、1 つ出ると次々と広がっていくとのことでした。  
コンビニでは、防犯カメラや鏡が何カ所にも設置され、成人向け雑誌や酒は区別して売られていました。  
貸しスタジオやカラオケも割と低料金で利用できることがわかりました。  
ゲームセンターは、大人の姿はあまり見かけませんでした。プリクラやアニメなどのショップは日頃全く入ったことがなかったのでよい経験をさせてもらいました。知ったことで子どもにも具体的な話ができると思います。  
日頃声を子供たちにかけていただき、環境浄化活動、巡回指導活動をしていただいていることを知り、ありがたいなあと思いました。学校に戻り伝達したいです。数々の誘惑に対応できる子どもに育てられているのかどうか難しい課題だと思います。
- 本日街頭補導を体験してとてもよかったと感じました。私達大人が知らない所を見学できてとても勉強になりました。  
学校までの行き帰りの中できちんと子どもに話してみようかと感じました。お店側もきちんと成人向けのものとは分けてくれて、協力しているのだということもわかりました。子どもも誘惑に負けない気持ちを持ってくれるといいのですが・・・本日は本当にありがとうございました。
- カラオケもいろいろな種類の店があり、高校生もよく利用していると聞き勉強させていただきました。  
キャラクターグッズのお店もいろいろあり、普段は気にかけていないことも目につくことができた。  
カードのショップでは高額なものも教えていただきびっくりしました。
- 最近市街地に買い物にあまり来なくなっているの、初めて通る所や入ったことのないお店が多かったです。自分が学生だった頃とは環境も大きく変わっているのが驚くことばかりでした。子供たちに興味のあるものでも、盗撮や万引き等大きな事件に巻き込まれないように、注意するよう声をかけていきたいと思いました。  
行く先々で子供たちが腕章を見て意識していたので、よい抑止力になっているのだなと思いました。
- 久しぶりに長野駅前を歩きました。だいぶ私達の頃とは変わっていて若い子達が時間をつぶせる遊ぶ場所が増えたなあと思いました。  
暗い雰囲気のあるビルにプリクラがあったりゲームセンターがあったり、とても怖く感じました。  
警察では最近、盗撮が多いと聞いたので、家も娘がいるので少し心配です。  
今日回った所は私が初めて行く場所ばかりだったのでとてもいい経験になりました。ありがとうございました。
- 昔と違い多くの店ができていてびっくりした。いろいろな誘惑があり、子供たちに注意させ犯罪に巻き込まれないようにさせたい。  
育成センターの方の大変さがわかったので、PTAとして親として協力できることは協力していきたい。今日一日ありがとうございました。
- 自分で本日回った店舗に入ることはほぼありません。駅前でなければ味わえない体験をありがとうございました。  
子供たちにとっては友達とのつきあいで親の目の届かない行動をすることは理解できるのですが、その子をかかえて犯罪や非行から守るべきか考えさせられます。少年育成委員の地道な活動が子供たちを守っていることに感謝申し上げます。  
自分の知らない世界を経験させていただきありがとうございました



## 一日少年育成委員

### 街頭指導の活動

市民の皆さんに一日少年育成委員として街頭指導を体験していただきたいと、PTAの皆さんを中心に、広く市民の皆さんに呼びかけています。今年度は小中高19の学校から46名のPTAの皆さんの参加が予定され、6月3日第1回目が行われました。

この活動の目的は、青少年を取り巻く社会環境や子供たちの実態を知ってもらうことです。センター職員と共に、愛の声かけの実践をしようということも大切なねらいです。

「自分の子供たちは家を出ると、こんな所で仲間と遊びんでいる。子供たちの遊び心を、こんな形で誘う環境がある。」などと、保護者の皆様が異口同音に「今日は本当に勉強になりました。」と感想をいただきました。

ネットの悪影響ばかりが伝えられる昨今ですが、改めて子どもが身を置く世界を進んで覗き、子供の立場に立つて判断していく大切さを感じてもらっています。



一日少年育成委員街頭指導  
街頭に出発

### 学校紹介 (学校少年育成委員)

## 社会適応力を高めるために

長野市立東部中学校 林 克己

東部中学校は本年度創立七十年を迎えました。卒業生は二万七千七百七十六名で、在校生は、七百四名が生活をしています。学区内には北しなの鉄道と長野電鉄が通っていて踏切が多くあり、加えて交通量の多い道路があり、特に朝夕の通勤時には渋滞が起こる箇所があります。また、東和田運動公園や大型商業施設もあり、多くの人が集まる場所があります。生徒の交通安全の意識やマナーを高めるとともに、日々の生活における判断力も必要と学校としては考え、地域の方々のご理解と協力を賜りながら、指導を重ねています。学校生活においては、生徒ひとりひとりの「社会適応力を高める」ことを大切に取組んでいます。

そのひとつが「あいさつ」です。朝登校したら「おはようございます」、校内で通りかかったら「こんにちは」、下校時には「さようなら」。あいさつを通してお互いを認め合うことで大きく信頼関係は変わります。生徒会活動では毎朝各委員会と部活動生徒が昇降口に立って、登校してくる生徒に明るいあいさつをすすんでしています。このような活動によって、地域の方からも「気持ちのいいあいさつをもらえた。」とお褒めの言葉を頂くことが増えました。

あいさつ以外にも「社会適応力を高める」こととして「集団の社会適応力を高める」ことについても取組んでいます。時間を守る、服装を整える、集中して取り組むことを全生徒が意識して生活



生徒会と合同で朝のあいさつ運動!!

できるように生徒会と連携して取り組んでいます。そのひとつが、生徒会が行っている生活上活動です。生徒会が中心に自分たちの生活(授業開始時の着席、給食時、清掃時)の状況を確認し、具体的にまとめた取り組みをもって向上させようと取り組んでいます。

「社会適応力を高める」こととして、「個人の社会適応力を高める」ことにも取り組んでいます。中学校を卒業する



がんばる膝付き清掃

ことは、義務教育が終了し自分の進路を歩むこととなります。学校としては、生徒ひとりひとりの可能性が高まるように、生徒との相談等生徒理解を充実させ、目指す方向に向かう生徒が自信を持って取り組めることができるよう

になつてほしいと願っています。まだまだ課題もありますが、生徒と保護者、地域の方々や学校が連携し合つて、生徒が希望や夢に向かっていく姿をたくさん応援できる学校になるように、努めていきたいと思っています。

### 「少年相談連絡会に参加して」

三区高等学校校長 市川 裕子  
北部高等学校校長 市川 裕子

この夏、少年相談にかかわる市内関係機関が集まる少年相談連絡会(長野市主催)で、少年鑑別所を見学させていただきました。触法行為をしてしまった子どもたちは、この施設で医学・心理学・教育学・社会学などの専門的見地から検査、カウンセリングを受け、学習や課題、運動に取り組み、およそ一か月間規則正しい生活を送ります。その後、立ち直りにむけて指針が示されます。

明るく静かな環境の中で、法務技官(心理)・法務教官という専門家が子どもたちに心を砕いて頂いています。しかし、子どもたちが、自分と静かに向き合うには、普段生活している社会と離れる必要があり、高い塀等により社会から隔絶されていることを感じざるをえません。

鑑別所では、子どもの気持ち落ち着くようによく寝させるのですが、そうすると、子どもたちはぐっすり眠ると、伺ったことがあります。初めから、触法行為を重ねようという子どもがいるはずはありません。非行を重ねている時、面白いと感じる時もあるでしょう。

う。しかし、本当は面白いはずはないと思います。子どもたちは疲れているのだと思います。

所長さんから戦後の時代の変化とともに青少年非行の変化も伺いました。現代は、核家族の悪い面が顕著になり、大人も大変疲れていると思います。どこに安堵する場を求めればよいのでしょうか。学校や地域で、子どもたちが出会う大人は、子どもたちにとって生きるモデルです。子どもたちの心の居場所にもなります。大人の一人として努力したいと思っています。

鑑別所では、子ども、保護者をはじめとする成人者に相談窓口が開かれています。社会に、困り迷っている人の相談窓口等、更に寄り添う仕組みが整えられるべきです。未来を創る子どもを支えるのは、寄り添ってくれる大人との出会いであると思っています。

#### <少年相談連絡会 構成機関>

- 地方法務局、保護観察所
- 少年鑑別所、家庭裁判所
- 県警察本部、中央警察署
- 南警察署、北信教育事務所
- 中央児童相談所、市保健所
- 市PTA 連合会、市福祉事務所
- 長野上水内校長会
- 三区高等学校校長会
- 市教育委員会
- 市少年育成センター

以上 16



連絡会議での熟議

# 夏季休業(8月1、2、3、4日、午後3時から)の巡回指導

○学校少年育成委員が夏季休業中の4日間、中心街、市内各地区を巡回し愛の声かけ活動や現状把握を行いました。

## 指導日誌(お店からお聞きして)から

- コンビニで 長野駅方面 ・長野駅前には児童・生徒はほとんど来ない。  
                   〃 ・夏場にバス待ち時間に涼みに来て何も買わない子達が店内で騒いでいることがあった。
- 松代 ・高校生が食べた後のゴミを駐車場に散らかしたことがあった。利用マナーについて指導が必要と感じた。
- 篠ノ井 ・店でwi-fi(ワイファイ)に繋がるため、集まる小学生が昨年はいたが、今年は見かけない。
- 安茂里 ・決まった中学生がイトインコーナーで学校帰りや休日に食べ物を買って食べている。
- 大型店で 川中島 ・ほとんど子供だけで来店することなく親と一緒にいる。高校生ぐらいになると夜遅く来ることもあるが、万引、迷惑行為はない。
- 芹田 ・4月オープンのスーパーで、店内が広く店員が少ない。レジがセルフである。児童・生徒の買い食い、おごり合い、万引等、問題が出てきている。今後定期的な巡回の必要性を感じた。
- カラオケ店で 中央通り ・時間を守って利用している。個室の利用マナーは問題なくトラブルもない。  
                   〃 ・最近では子供の利用が少ない。
- 交番で 大豆島 ・夜公園やコンビニ店で中高生、成人が集まって、花火がうるさいなど地域から連絡が入ることがある。
- 長野駅方面 ・9月に駅前に量販店が開店する。夜遅くまでの営業なので中高生の動きを心配している。
- 書店で 長野駅方面 ・あまり子供の姿を見ない。飲食をしながらの子、ソファで長居する子に声掛けをしている。
- 若槻 ・文房具コーナーでは、集団で入店する子達を店側は警戒している。消しゴム、イヤホン、シャープペンなどの万引があった。
- 公園、公共施設で 松代 ・プールは賑わっていた。公園は子供たちの姿が少なかった。
- ゲーム店で 川中島 ・小学生は保護者同伴が多いと感じた。巡回時間では高校生がちらほら、店員さんからも問題ないと言われた。
- 柳原長沼 ・問題ないが、親子連れの姿が多い。



駅前の駐輪場の現状を見る

長野市青少年保護育成条例に基づき、毎年コンビニ店、書店、レンタル販売店で、成人向け雑誌の表示や陳列の工夫、未成年者への酒・煙草の販売禁止、万引防止への協力など現場の状況を見させていただき、指導・助言をさせていただいています。

今年度六月、七月にセブン・イレブン83店舗、ローソン35店舗、ヤマザキショップ1店舗を実施しました。短い時間でしたが、各店舗のご協力を得て充実した調査になりました。

(有害図書類について)

○「成人向けコーナー」の大きい表示仕切りを陳列棚に取り付け、一般雑誌と区別がきちんとなされていきました。一般雑誌やコミック本の中に有害図書類に当たる暴力的あるいは性的に過激な描写があるものは、店長さんにお願ひし成人向けコーナーに移動をいただきました。

## 平成29年度立入調査から コンビニ店を実施して

(酒・煙草の販売について)

○アルコール専用棚に酒類を置き、表示もしっかりとされている店舗がほとんどでした。ノンアルコールビールもお酒コーナーに含めて陳列されており、料理用酒にもお酒の表示がなされ、細かい配慮が見られました。トレーディングカードはタミイを作って陳列しているところもあり万引防止の工夫が見られました。

(その他)

○ひまわりっ子育成県民運動のステッカーは既に掲示されている店舗が多く、ない店にはステッカーを渡し掲示をお願いしました。

(まとめ)

○近年コンビニ店の利用頻度は年々高まり、児童・生徒の利用数も増加しています。初発型非行の万引や自転車盗などの少年犯罪に占める割合が相変わらず減らないことから、青少年のコンビニ店利用の実態については目が離せません。立入調査では健全育成に大変前向きで協力的な姿勢を見ることができました。今後も定期的な連携で青少年の健全育成を支えていきたいと思います。

(編集後記)

・夏季巡回指導、立入調査を行いました。青少年健全育成の視点から積極的な参加をいただき関心の高さを感じます。自分事として捉えていく大切さを改めて考えさせられました。

・実りの秋を迎え、春に撒いた種が花を咲かせて実を結んでいます。丹精込めて育てたこどもたちを見つめ直し、成果を子供と共に生きる力に変えて、明日への一歩にしましょう。

・いよいよ来年は平成三十年、区切りの年を今年以上に素晴らしい年にしたいものです。